

各 位

平成26年10月7日

会 社 名 北雄ラッキー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 川端 敏
 (コード：2747、東証JASDAQ)
 問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長
 桐生 宇優
 (TEL. 011-558-7000)

平成27年2月期第2四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

平成26年4月11日に公表しました平成27年2月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成27年2月期第2四半期累計期間業績予想との差異

(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当り四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,470	10	△23	△59	△9.33
今回実績 (B)	21,306	△34	△52	△82	△13.09
増減額 (B-A)	△163	△44	△29	△23	—
増減率 (%)	△0.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年2月期第2四半期)	21,581	214	174	94	14.89

2. 差異の理由

当第2四半期累計期間におきましては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要に加えて俱知安店開店の協賛セールなどにより、3月の業績は既存店売上高が前年同期比108.8%となるなど大きく伸びました。しかしながら、4月以降においては、駆け込み需要の反動による消費落ち込みからの回復が遅れていること及び消費税増税・物価上昇に伴う消費者の生活防衛意識や節約志向の高まりなどにより、当第2四半期累計期間における既存店売上高は前年同期比98.1%となりました。部門別としては、米・タバコの消費が低迷するグロサリー部門と夏物セールなどが不調であった衣料部門の不振が大きく影響し、売上高は当初予想を0.8%下回ることとなりました。

利益面におきましては、当社の旗艦店であります山の手店が店舗建替のため約4か月間に亘り改装休業したこと、また、上期の新装開店（俱知安店、山の手店）に伴う一時費用の発生などにより、売上高の減少に加えて販売費及び一般管理費の増加要因が重なり、営業利益、経常利益及び四半期純利益ともに、当初予想を下回る結果となりました。

なお、平成27年2月期通期業績予想につきましては、平成26年4月11日に公表しました数値から変更はありません。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上